



2025年度 第1四半期業績

2025年度 第1四半期 業績

売上収益

1兆1,067億円

後発品による減少は極めて大きかったものの、当社の計画通りの水準

△3.7%

恒常為替レート
(CER) ベース

△8.4%

実勢レート
(AER) ベース

Core営業利益

3,218億円

△11.9%の減少 (CERベース)

△15.8%の減少 (AERベース)

主に後発品による影響

Core営業利益率

29.1%

財務ベース営業利益

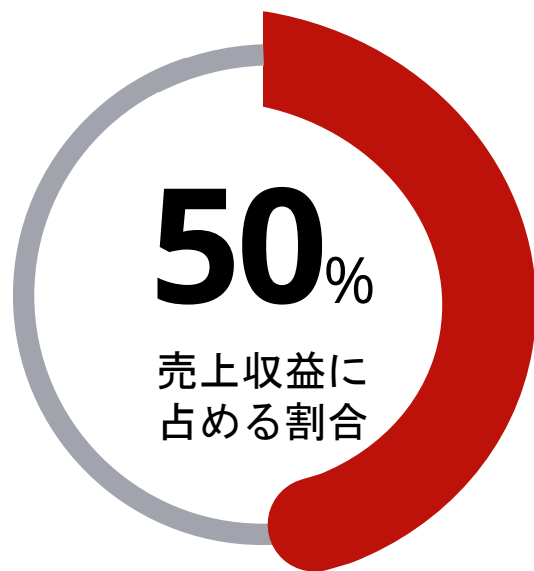
1,846億円

+11.0%の成長 (AERベース)

減損損失および事業構造再編費用の
前年同期比減少を反映

2025年度第1四半期業績

成長製品・新製品は+5.0%（CERベース）で伸び、売上収益全体の50%を占めるまでに



2025年度通期見通しに変更なし

Core営業収益

4兆5,300億円

Core営業収益

1兆1,400億円

Core EPS

485円

通期マネジメントガイダンス（CERベース）

Core売上収益

概ね横ばい

Core営業収益

概ね横ばい

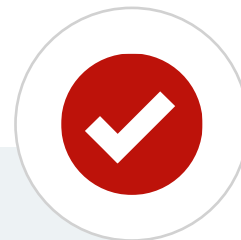
Core EPS

概ね横ばい

後期開発パイプラインの進展



7月に、ナルコレプシータイプ1を対象とした治療薬候補の第3相臨床試験においてすべての主要評価項目を達成したと発表





本プレゼンテーションには、当社の将来の事業、将来のポジションおよび業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。重要な注意文言を含む、当社の将来に関する見通し情報に関する詳細については、当社の2025年度第1四半期業績の投資家向けプレゼンテーション

(<https://www.takeda.com/jp/investors/financial-results/quarterly-results/>) をご参照ください。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品の効能を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。

CER（Constant Exchange Rate：恒常為替レート）ベースの増減は、当期の国際会計基準（IFRS）に準拠した業績またはCore財務指標（Non-IFRS）について、前年同期に適用した為替レートを用いて換算することにより、前年同期との比較において為替影響を控除するものです。ただし、超インフレが発生し、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」が適用されている子会社の業績を除きます。

Core売上収益、Core営業利益、Core当期利益（親会社の所有者帰属分）、Core EPS、CER（Constant Exchange Rate：恒常為替レート）ベースの増減、純有利子負債、調整後純有利子負債、EBITDA、調整後EBITDA、フリー・キャッシュ・フロー、調整後フリー・キャッシュ・フローは、IFRSに準拠しない財務指標です。投資家の皆様におかれましては、IFRSに準拠しない財務指標につき、当社の2025年度第1四半期決算の投資家向けプレゼンテーション（<https://www.takeda.com/jp/investors/financial-results/quarterly-results/>）の末尾にある財務補足情報を参照の上、その定義と、これらに最も良く対応するIFRS準拠財務指標との調整表をご参照くださいますようお願い申し上げます。